関大
発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話 06(388)1121代表
振替口座大阪55594番

"関関"伝統の炎を全校友に！

全学に33部の熱気
第二回 14勝15敗三分で惜敗

紫紺の征旗と、ブルー・アンド・ホワイトの新月旗が、梅雨を忘れた青空にはためくもとで、関西大学、関西学院大学体育会の三十三部・二千余人の選手の心身が躍った。六月十九日、二十日の両日、関学・上ヶ原キャンパスを中心にくりひろげられた第二回総合関関戦では、スポーツ部員だけでなく、両校の全在学生・三万数千人の青春も"われらが母校"意識に、しばし酔ったという。関大は、地元の利を生かした関学に、十四勝十五敗三分（合気道を除く）で惜敗した。二十七部が参加した第一回の昨秋は、十五勝八敗三分（合気道を除く）の大勝だった（詳細は別表）。来年は、どんな激突となるだろうか！　関大体育OB会の大島鎌吉会長が、この対校戦を構想するにあたって「学生競技で二大学"総合戦"という、日本にも外国にもないネライ」の本来の意義が見事に結実したといってもよいであろう。初日の開会式に、来賓として出席した樫本信雄校友会長は、関学同窓会の沢田修太郎会長と、観戦の合い間、ひとときの会談をもち「スポーツにかぎらず、学術研究もふくめた全学交流へ」、「よきライバルの炎を全校友にまでも」と、さらに幅広い、校友くるみの両大学の交流までも模索し、互いに切磋琢磨することを誓った―。

十九日正午から硬式野球グラウンドで行われた開会式。部旗を高く掲げ、それぞれのユニホーム姿で、両校選手がならんで行進してくる。来賓、OBのつめる本部前を通過するとき熱気がたぎる。両校合わせて六十六流の部旗の前で選手宣誓。紅白の風船が放たれる。開幕の演出は、際立ってはなやかになった。

一般学生の関心も高く、会場の関学では、大勢の一般学生が熱戦に目を輝かせていた。関学では、この両日、正課体育の実技の時間を「スポーツ観戦デー」として、学生に観戦レポートを提出させる授業形態にプログラミングした。観戦の学生は専門知識を駆使したのレポート作成におおわらわだったが、学友の健闘に一喜一憂し、関学生の仲間意識を触発させていた。大会の本旨の「両大学ならびに日本の大学スポーツの真の振興」が実りつつある。

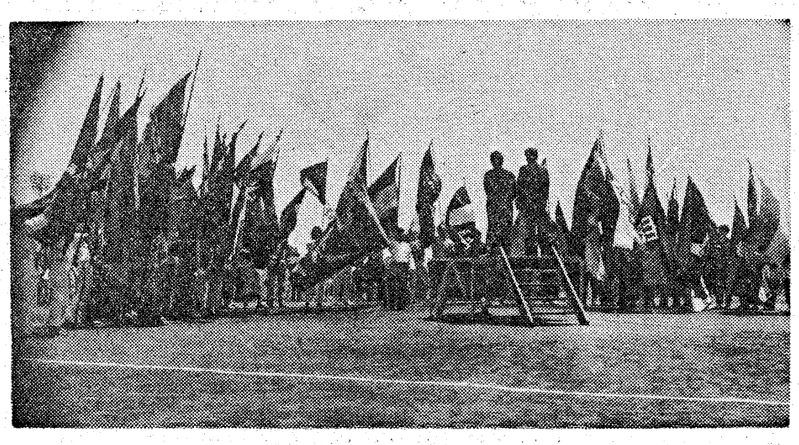
一方の関大では、大会両日にわたって、第一グラウンド側面に掲じられた大会速報板に、一般学生は関心を集めた。多くの学生が総合関関戦を話題にし、西宮まで応援に駆けつける学生もあった。

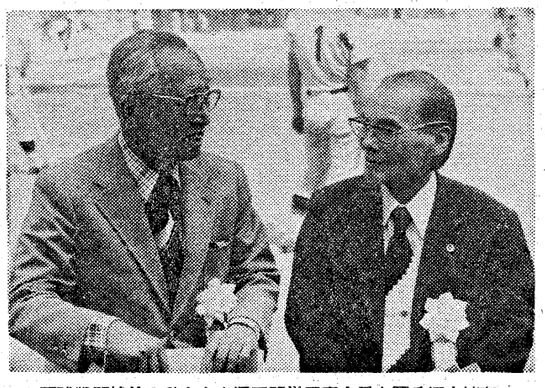
関大は、帰属意識を高揚させる営みが、率直に学生の評価を呼び起こしたのである。この意味で総合関関戦は確実な一歩を、新しい大学スポーツのあり方として、踏み出すこととなった。

東高西低といわれ、地盤沈下といわれる関西学生スポーツ界に活を入れるとともに、輝かしい関関の伝統の火を守れと見守ってきた両大学体育OBの方々も新しい一歩を高く評価した。

両大学当局者はこの大会に大きな期待を寄せている。中義勝関大学長は「しのぎを削るライバル意識が関関両大学の全戦線にわたる旺盛な活気と両大学の学園の振興を高める」といい、久山康関学理事長は「意志薄弱な自己中心の人物を追放し、剛健な精神と篤い友情と強健な肉体の養成こそ教育の重大課題である」と、それぞれ総合関関戦にその発露を期待している。

ともあれ着実に根をはりだした総合関関戦である。来年は関大で第三回大会が開催される。一堂に会する場で醸成される共通理解の輪が両大学の発展に寄与することを期待したい。（伴記）





関関あわせて66本の栄光の部旗の前で宣誓！

野球戦開始前のひととき沢田関学同窓会長と語る樫本校友会長（右）

さらに固い絆を
樫本関大・沢田関学両会長の交歓

「ここは緑の中に整然と学舎が並んでいる。うらやましい」

「五十年前、私が入学したときは赤茶けた地肌に校舎だけが…。神戸から移ったばかりで、まさしく砂漠の学園。……桃の花が咲きみだれ、みかん畑に囲まれた千里山が、ねたましく」（笑い）。

"キャンパス談義"から、樫本・関大校友会長と、沢田・関学同窓会長の話が始まる。

「私は同窓会と体育OB会の両方の会長をやらされて……。来年は、総合関関戦のポスターは、両校の学生から懸賞募集しては」と思っています」

「体育だけでなく、学術研究の懸賞論文も両校生で競わせても」

「たいへんな刺激でしょうな。審査のため先生方にも入っていただく」

「費用は双方の卒業生、校友会でみることにする」（笑い）。

「その費用のこと、（笑い）、から、ちょっと、おたずねしたい。同窓会、いや、関大は校友会でしたね。その運営はやはり終身会費で……。卒業生のみなさんの納入率は」

「関大では二年前から、入学試験合格者に、学校から授業料などいろいろの書類をとどけるでしょう。この封筒の中に、校友会費予納の申込書を同封してもらえた。それいらい少歩止まりはよくなり」

「よいことを教えていただいた。関学は終身会費は二万円。関大さんと同じですか？。在学生で払い込みのときは半額の一万円ですが、なかなかね。（笑い）。もっとも入学者の金員から同窓会入会金として一人、千五百円はいただいているが」

「関大には"入会金"制度はありません。あやかりたい」（大笑い）

ベテラン会長同士の交歓。テンポが早い。財政基盤から、組織づくり、広報活動と内容も詳細かつ多岐にわたる。

関学は同窓生総数は九万人。国内に五十三支部、ニューヨークなど海外支部は六つで、一昨年はシンガポールにも。機関誌として五十六の母校通信を春秋の二回。

「大阪の樫橋に"関学クラブ"がありますね。関大も大阪市内で簡単に集い、懇談できるところがほしいんですがね」

「二十坪ぐらいのところです。各自五万円が入会の保証金です。体育会のOBなど七〇〇人ぐらいが入っており、毎月第三金曜日には例会も。五年目になりますが、維持管理費がたいへんで」

「船上同窓会を開かれたとか」

「総会は例年、四月二十九日の天皇誕生日。クリスチャン校なので日曜日はダメなんです。母校キャンパスの芝生で集うのですが、ことしで創立九十周年、なにか新しい趣向ということで、船会社に勤める卒業生のきも入りで、神戸―宮崎間のフェリー船を、昼から出航までのあき時間、チャーターし"船上総会"としゃれこんだのです。おかげさまで同窓千六百人、家族二百人が集う盛況で」

「その九十周年では、ライシャワー博士を、お招きになるとか。その他で、同窓会の計画は」

「九十年小史と校友名簿をつくり、セットで五千円にし、配布の予定です」

「関大は名簿だけは、法人から委託をうけて、四十三年いらい、四年ごとに会校友収録のものを刊行し、すでに三回。こんどは五十五年版です」

「立派ですね。ぜひ、ご指導を」

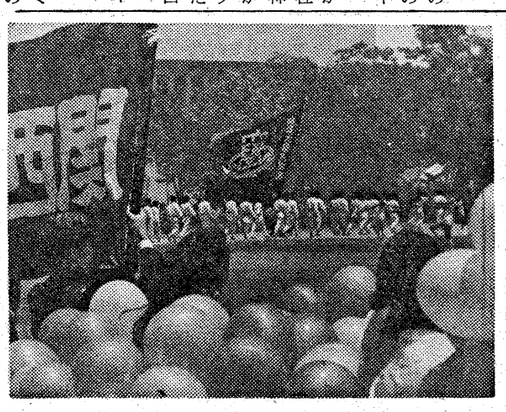
ここで教育後援会、セミナハウス、キャンプ場など双方の特徴が話題となり、とどまるところをしらない。

「あっ！　野球がプレー・ボールのようです」

「今日も勝たしてもらいます」

「いや！　こんどは関学」

両者、立ちあがって、力みかえったところで大笑い。固い、強い握手を終えて、それぞれの母校野球部のベンチへ、イチモクサン！



ひときわ華やかに第2回総会関関戦の開会行進

競技種目	53年度 勝負	53年度 得点	54年度 勝負	54年度 得点
航空			○	904～901
アイスホッケー	○	6－1	×	0－4
ゴルフ	×	4－8	×	2.5－9.5
アメリカンFB			×	0－38
ヨット	○		○	
ボクシング	○	7－5	×	2－3
ラグビー			×	9－27
硬式野球	○	4－1	○	3－0
サッカー	×	2－3	○	1－1、PK勝
バスケットボール	○	90－66	×	57－58
バレーボール	×	2－3	×	0－3
バドミントン			○	男4－3 女3－2
フェンシング			○	10－6
自動車	×		×	
射撃	○	1404～1342	○	1418～1395
軟式庭球	×	1－4	○	3－2
相撲	○	2－1	×	1－2
レスリング	○	7－2	×	4－5
柔道	○	4－0,6分	○	3－2
ハンドボール	×	男15－19 女5－12	分	男22－24 女15－6
軟式野球	○	5－1	×	1－3
陸上ホッケー	分	3－3	×	1－3
剣道	○	8－7、10分	○	8－6
卓球			分	男1－4 女3－2
拳法	○	5－5、代勝	○	4－2
空手道	○	3－1、3分	×	3－4
器械体操	○	186.35～160.15	×	132.60～143.65
陸上競技			○	33－9
洋弓	分		×	4417～4482
スキー競技			分	男18－19 女5－2
弓道	分	72－72	○	136～134
重量挙	○	23－19	○	28－14
合気道		演歳		演武
硬式庭球	×	男3－4 女2－3		
馬術	×	219～417.25		

<注>○は勝、×は負、分は引分け、／は実施せず

中国学術代表団一行が来学
増田文庫など参観
哲・史・文に分かれ交流

文学部長　大庭脩

中国社会科学院訪日代表団の一行が六月二十三日、来学された。哲・史・文の三分科会に分かれて、本学教員と座談会をもつとともに、図書館、考古学等資料室、東西学術研究所など参観された。増田文庫の魯迅関係の図書には、とくに興味をしめされた。夜は法人関係者も出席し、交歓の夕食会が開かれた。なお本学の文学部長の大庭脩教授と、考古学の網干善教教授は八月上旬、訪中されて北京大学、吉林大学などで、大庭教授は「木簡について」、網干教授は「古墳にみられる中国の影響」を講演されるという。また東西学術研究所の訪日への意欲も高い。校友会事業部でも、ただいま"中国視察の旅"を企画中だ。「中国社会科学院訪日団の来学覚え書」を大庭文学部長にお願いした―。

六月二十三日、中国学術代表団一行八名が本学を訪問した。この代表団は周揚中国社会科学院副院長を団長とし、夏鼐考古研究所長が副団長、任継愈（世界宗教研究所長）、唐弢（文学研究所）、賀麟（哲学研究所）、李栄（語学研究所副所長）、李芒（外国文学研究所）、張国維（秘書）の各団員で構成され、いずれも中国社会科学院傘下の各研究所を代表する学者である。

この団を迎えて日本側は、京都日中学術交流懇談会が中心になって歓迎実行委員会（委員長長谷川雄茂樹京大名誉教授）を組織し、中義勝関大学長が顧問、大庭脩文学部長が常任委員、芝田稔（文）教授、奥村郁三（法）教授、足立利雄（社）教授ら多数が実行委員に参加、六月五日から三週間にわたって、京都、東京、仙台（一部金沢）、大阪、神戸の各都市で学術交流がなされた。

人文科学系の学者の来日は、中華人民共和国建国以来三度目。前回は一九六三年のことで、夏鼐氏も参加、この団も本学を訪れた。今回は日中平和友好条約締結後初めてのことであり、中国国内では期待された。仏教学者として有名な任継愈氏、西洋哲学者の賀麟氏など、この分野からの参加は開放後初めてであり、日本側でも専門分野ごとに団員一人ごとに異なる日程をたてて、実質的な講演会、討論、懇談会を設定したのも初めてである。

午後二時から一時間半にわたり、会館会議室で、東西学術研究所プラザを出発した一行は、まず服部緑地の日本民家集落博物館に立ち寄り、上井久義（文）教授の案内で飛騨の民家を見学、王植範・駐大阪総領事も一行に加わった。保存のため火を焚く炉端に座って興味ふかげであった。

十一時半に関大会館に到着した一行は、紹介の後昼食をとり、席上、中学長と夏鼐副団長（周団長は病気で帰国）のあいさつの交換があった後、学長から本学の出版物一揃いを団に、学長の自著「欣求の志」と増田渉教授の遺著「西学東漸と中国事情」が各団員に贈られた。増田教授は昭和四十九年まで本学の教授で、直接魯迅に教えをうけた中国文学者として中国でも有名であり、この遺著は本学で学術懇談会が行われた。哲学部門は任継愈、賀麟両氏に対して藤善真澄研究員の司会で本学教員七名、史学・考古学は夏鼐、黎樹、張国維三氏に対して奥村郁三幹事の司会で十二名、文学・語学は唐弢、李栄、李芒氏に対して芝田稔幹事の司会で十一名が、それぞれ参加し、事前に出席者から提出されていた問題に、代表団側が解答する形で進められた。歴史部門では質問が多く、時間不足と見て奥村幹事は一人一問に制限するなどであり、哲学部門では賀麟氏から出席の哲学科のスタッフに対し、一人ひとり研究テーマを質問、日本の研究に興味を示された。

この席では、西田哲学の流れを汲む学者として特に賀麟氏から面会希望のあった教育学科の竹内良知教授や、宗教学専門のM・オーガスティン英文助教授の顔も見られた。文学語学部門では中国関係のほか、日本、西洋文学の専門家も出席、外国人の日本文学研究者という意味で、李芒氏とG・ジョンソン英文助教授の間でユニークな会話がかわされた。

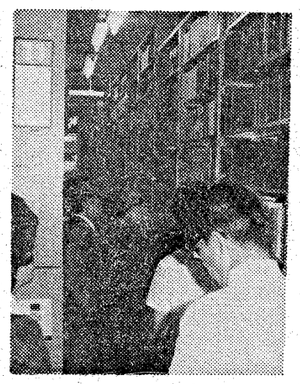
午後四時、一行は会館を出発して図書館本館で増田渉氏旧蔵書（増田文庫・整理中）等蔵書を熱心に見学、同時に夏、鼐張国維両氏は考古学資料室を網干善教（文）教授の案内で参観、ついで東西学術研究所長室で研究所の現状につき、藤本勝次所長の説明を詳しく聞いた。

宿舎ホテルプラザに帰着した一行は、午後七時半から晩餐会のテーブルにつき、席上久井忠雄理事長は、この日の学術交流の成果を賛え、謝意を表すると共に、次は本学の教員が北京を訪れて討論の続きができるよう希望し、友好歓談の宴が行われた。

今回は人文科学分野が中心であったが、既に六月四日には上海の学術代表団の内、自然科学系の学者五名が工学部を訪れたこともあり、今後はそれぞれの専門分野でつっこんだ研究交流が進展するものと思われる。

なお、東西学術研究所が、来年度は訪中して研究を進めたいという希望を示したのに対し、張国維氏は帰国後研究の上、八月に北京を訪れる大庭脩文学部長に何らかの解答をする旨を約した。

◇　◇



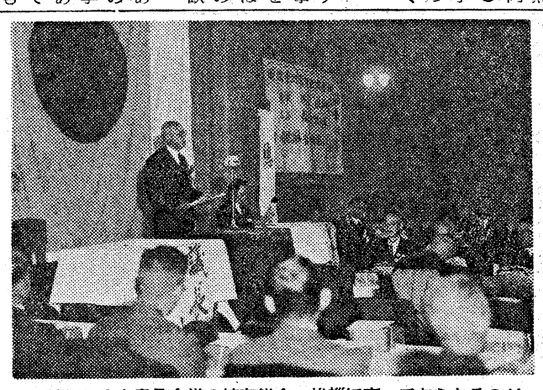
増田文庫に立ちどまる中国代表団

服部の民家集落を見学（右から2人目が大庭教授）

これが昭和13年の校友総会!!

昭和十三年十一月二十日の大阪中之島中央公会堂三階大ホールで、初の校友総会の模様を、当時の関大学報一六五号（昭和十四年一月号）から調べてみた。

この年二月に"統一校友会"の会則ができ、最初の校友総会が開かれた。出席一千余名、その他返信に接しる者六千余名に及び、空前の盛況だったとある。



13年の中之島公会堂の校友総会。挨拶に立っておられるのが神戸正雄校友会長（当時学長・故人）で、侍するのは司会の樫本信雄幹事

会は神戸会長議長席に就き、樫本幹事（注・現在の校友会長です）開会を宣し、……（中間略）……内藤副会長の事業報告あり、母校・関西大学を代表して玉木常務理事、教職員を代表して木村法文学部長の祝辞、…（中間略）…学歴自然の秀麗を合唱し、神戸会長の発声で聖寿の万歳を、喜多村大阪支部長の発声で校友会の万歳を三唱し、盛会裡に終わる。

この日、記念講演会として、京大名誉教授・作田荘一博士の「現代と古道」。問題の教育映画「綴方教室」の映写会もあったという。さて、四十余年ぶりの今年の総会は？

ちなみに、当時、祝電をよせておられる支部名は、岡山支部、福岡支部、大連支部、愛媛支部、川辺支部、由斯会、大阪市友会、神戸市役所関大倶楽部、交明倶楽部、大四会、七商会、昭三会、斯文会、尚文会、菅法会。まさに今昔の感！　ありやなきや。

中学長がTV登場
八月四日関西各特別番組に

八月四日午後二時半から一時間特別番組として「関西四大学」が、関西テレビ（8チャンネル）で放映される予定。

四大学は関大、関学、同志社、立命館の四校。このほど中学長の談話の録画とりがあった。校友のみなさん、こう、ご必見を。

なお放映テレビ局は、関西テレビ、テレビ西日本、テレビ新広島、テレビ熊本、テレビ長崎、テレビ宮崎、サガテレビ、鹿児島テレビ、テレビ大分の各局。

八月中の執務時間

一、平日は九時～十六時。
二、毎週土、日曜日は休業。
三、八月十日（金）～二十二日（水）は、一斉休業となり、学内の立ち入りは禁止となっています。

葬の雫

ベトナムからどっと流出した難民をめぐる問題は、いま世界中の国がなんとか打開策を考え、行動をしなければならない緊急の人道問題・政治問題となっている▼ベナトムといえば十年ほど前には関大の留学生の中でも数が一番多かった。ほとんどが工学部を卒業、米国などへ転出したようだ。しかし四年前サイゴンが共産軍に陥ち、南ベトナム（ベトナム共和国）政府は消滅、同政府の旅券は無効となったため、日本から出国もできず、救済対象の"難民"扱いも受けられず、まともな就職口もなくて困っている留学生もあると聞いている▼この春工学部卒のベトナム人・阮君はどうしているんだろうか。留学生会名簿で、堺の彼の電話をダイヤルしたが「この電話は使われておりません……」と繰り返す録音テープの声ばかり。都合よく就職して転居したのならいいがと祈りながら、戦争と革命の祖国を思いわずらいながら母校に学んできた同君らに、一先輩として励ましの声もかけすごきたことが悔やまれた▼校友の皆さん！　何か、めいめいでできることを、遠く故国を離れて母校に留学中の後輩のためにやろうじゃありませんか。大阪商工会議所では「留学生との身近な家族ぐるみの交流を通じて、日本人と日本社会をよりよく理解する場を提供、相互の友好親善を深める」目的で留学生里親制度を実施しているが、校友会事業部では、このアイデアを同窓のセンバイ後輩という既縁の中で実現しようと目下、「引き受けてもよい」という校友を募集中▼お申し込みは①家族構成と、その職業や学校名、趣味、特技、宗教②海外生活など家族についての特筆事項③引き受け留学生に対する希望条件（性別・その他）④住所、氏名、電話番号などご記入のうえ校友会事業部宛に郵送願います▼留学生側の希望などを聞き、"一里親一留学生"を原則にコーディネートする予定。"特別の歓待やお客扱いでなく、家族なみに、毎週一日でも継続的な"留学生との交流が望ましい。日本語補習や卒論指導まで、よき先輩ぶりを発揮できる好機です！。（あ）

ニーズにマッチした商品構成
パース・ハンドバッグ・カバン専門卸商社
株式会社 廣島屋
取締役社長　藏田廣造
（昭25学1経）
本社　〒541 大阪市東区博労町1-26
TEL 06－261－2431(代)
営業所　大阪5・東京1

●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ 財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

〈営業品目〉
亜鉛華・亜鉛末
硅酸ジルコニウム
窯業用原料・酸化チタン
ホワイトカーボン
その他工業薬品
白水化学工業株式会社
本社　大阪市大淀区豊崎3丁目9番7号
電話 (06) 373－0231(代)
事業所　東京支店・大阪営業所
名古屋営業所・河内工場
白水グループ
京神倉庫株式会社　九州白水株式会社
ヘンケル白水株式会社　中部粉体工業株式会社
曹水化成株式会社　京神運送株式会社
白水興産株式会社　株式会社ジユエルハイム
五洋商事株式会社　日本シリカ工業株式会社
アイアンドエフ・ビルディング株式会社

会計事務所各位
JDL会計事務所専用コンピュータ
―端末機ではありません―
¥46,000/月
コンピュータ価格の常識を打破した"JDL 208 model 1"。
発表以来半年ですでに500人の先生方がご愛用です。
毎月の使用料は、なんと従来の約1/3。わずか46,000円です。もちろん、会計業務を十二分にこなす高性能。会計事務所の必需品としてお気軽にお使いいただける、まさに、一事務所一コンピュータ時代に対応した画期的マシンです。
JDL 208 MODEL 1
JDL 208 モデル1 会計事務所用プログラム
●合計残高試算表●総勘定元帳●経営分析表●比較貸借対照表●月次比較損益計算書●資金繰実績表●決算報告書●青色申告書●補助簿●減価償却明細表●給与・賞与・年末調整●販売管理システム
お問い合わせは
株式会社 デジタル
本社 〒542 大阪市南区空堀通2丁目33番地 郵便ビル ☎(06)261－2755代
京都営業所 〒600 京都市下京区七条通烏川西入 山本ビル ☎(075) 371－6407

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550 大阪市西区北堀江
電話大阪(541)三六二一～六番
支店・営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪(231)〇五六五～七
大阪駅前店 第一生命ビル 専門大店
電話 大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン テーラーカタノ

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店2階
メガネ大学堂
●京橋店 ●心斎橋店
●阪神百貨店 ●虹のまち店

徳島、熊本で〝関大の夏〟

関大の地方の夏が始まった。大学と家庭のかけ橋を目指す「地方教育懇談会」が、七月一日の徳島、鹿児島両市を皮切りに、二十二日までの間、全国十二の地方主要都市で開かれている。この母校からの首脳陣来県のおりを生かして、校友会の徳島、熊本の両支部では支部総会を催した。

80翁も豪気に交歓

樫本会長迎え徳島支部総会

徳島支部（小寺善二郎支部長）の総会は、六月三十日午後六時から、徳島駅前の「ホテル春日」で開かれた。毎年夏に年次総会を行っており、四十八年からは、大学の教育懇談会が開催される年（隔年ごと）には、これに呼応して母校関係者を迎えての会合とし、好評を博してきた。

今年の総会も七月一日の教育懇談会の前夜に設定されたため、五十名を超す出席回答があり、タイアップ策も四回目にして定着した感があった。折悪しく〝豪雨連続五日〟の不順な天候で、池田、小松島、宍喰など遠隔からの参加が見合わされたのは惜しまれるが、母校から学長代理として上林良一教学部長を、校友会本部からは樫本会長、藤本事務局次長を迎え、約四十名が出席した。

内村達之介氏が進行役となって、母校紹介の映画「青春の群像」を上映のあと開会し、あいさつに立った小寺支部長は「目に見えない心のつながりを大事にした教育懇談会から杉山寿一（九州産業交通㈱専務）、岡崎勇一（割烹〝三駒〟経営）、岡村良昭（熊本日日新聞編集委員）の三氏が、代表として校友会支部総会に参加された。わが子の将来を思うとき卒業生の姿をみるにしくはなし。そのお一人、岡村さんから示唆に富んだ感想文をいただく。教育懇談会と校友支部総会。この二つの会合の独自の意味、つながりが、明快かつ熱いまなざしで述べられている。

……◇……

教育後援会熊本県支部の地方教育懇談会と、校友会熊本県支部の総会が、同じ日の七月三日、熊本市で開かれた。二つの会合は、それぞれ別々の会場で、異なる時間に開かれたから、両方が一堂に顔合わせる、というわけにはいかなかったが、私は、さいわいにも双方に出席させてもらった。まことに密度の高い一日だっただけに、いろいろと感じるところも多かった。

大学が教育懇談会という形で、父母と教師を地方に集めて、会合を開くなど予想もしていなかったから、正直言って意外だった。この種の懇談会を慣例として受け止めるか、初めてのものとして受け止めるか、は受け止める側の父母にとっては、全く違ったものになると思う。つまり二回目の父母と一回目出席の父母との間には、出席する際の心構えからして違うはずだ（注・各地とも二年ごとに懇談会が開かれている）。大学側に仮に、会合をソツなく開くことだけに留意しようとする気持ちがあるとすれば、やはり〝慣れ〟の結果と言わざるをえない。そうなら効果の面で、こわい結果になると思う。

親はあくまで〝親心〟だ。自分の子だけは、と、ついつい思ってしまう。こどもの方は、そんな親の考えの範囲から遠くハミ出している。しかも九州から大阪へ出れて、目が届こうはずがない。どんな生活をしているか、知りたくても、電話の先で知りうることは知れたものだ。そんな意味で、どんな先生にふだん接しているか、先生たちは、どんなことを考えて教育しているのか、そのことがわかっただけでも、私には文句なしに〝よかった〟と思う。

〝安心〟したからである。

社会学部二年の長男は、二年後に、再び熊本で懇談会が開かれる時は四年生だ。その時点になっても、ことしの懇談会で感じたことと同じことを私が感じるか、ということになると「ノー」ということとなるだろう。このことは、どの親にも共通だと思う。つまり別の新たな期待が出てくるはずだからである。

一方の校友会の支部総会も請われて、初めての出席だった。教育後援会から支部長はじめ代表者三人が出席した。関大の卒業生が社会的にどんな活躍をしているか、どんな地位を占めているか、に興味があった。先輩が後輩の前で〝先輩風〟を吹かせうる唯一の、しかも損得勘定抜きの会合だし、これには意味がある。新しい世代が先輩世代を、どんどん追い上げているな、と思ったのは収穫だった。いずれ、わが子も、この会合の末席に、などと思うと他所ごとではないのである。

ひとこと言わせてもらえば、二つの〝同質〟の会合は、一方通行でなく〝相互乗り入れ〟でなければならないということだ。少なくとも根っ子は同じである。校友会代表は教育懇談会に大手を振って顔を出し、あいさつ、激励をしてほしい。そして教育後援会側も、校友会に、もっとオープンに接触していいのである。同時に教育懇談会には、学生（子弟）の出席も呼びかけるべきだと思う。親と大学だけの関係から、こどもをも含めた組織へ。教育の効果は、もっと上がるはずである。

―◇―

相互乗り入れの効果を

総会出席父兄の感想

校友弁護士さんに日本経済を説く小田教授

華やかな阿波踊りもあった徳島支部の集い

乾杯の声も高らか…若い力の熊本支部

弁護士さん経済を学ぶ

小田教授招き 関大法曹会総会

関大法曹会では六月三十七日午後六時から大阪ギクの中華料理店〝八仙閣〟で総会を開いた。

役員改選、新会員になった紅二点を交えた新進弁護士八名の紹介のあと、今回は、おもむきをがらりとかえて、母校経済学部の小田正雄教授から「わが国経済の展望」の講演を聴く。終わって質疑応答に入った。さながら〝経済〟修習のおもむき。幅広い法曹活動の糧にと、勉強するセンパイの姿に、二年の修習を終えたばかりの新会員も、ひっくりひとときだった。

役員の改選は次の通り。

幹事長植垣幸雄（昭11専二法）
副幹事長田村徳夫（昭18大法）、和田栄重（昭28学一法）、鷹取重信（昭26学二法）。

新会員は次の通り。

岡本太郎（48学一法）、影田清晴（47学二法）、小林俊朋（48学一法）、高尾幸子（48学一法）、中村真寿子（旧姓服部・47学二法）、林川毅（41学一法）、田隆（49学一法）、沢田

ご子弟と共に社会に尽さん

樫本会長のあいさつ

夜のふけるのも忘れての校友交歓であったが、そこは四国出身の樫本会長、後輩の現役学生への心配りもひとしお。翌日は、郷土文化会館での教育懇談会に出られ、父兄を前に〝県出身校友の活躍〟を熱っぽく力説された。

……◇……

関大の卒業生は、ただいま十六万人。建学の精神である〝正義を守れ〟の合い言葉で結ばれ、全国各地の各界各層で活躍している。徳島県下でも、住所が判明している校友は六百人をこえており、その有志の方と、昨夜は懇談した。また卒業後は県外に出られ、広く国家、社会のために尽くされている方も多い。母校関大の理事長でもありました、亡き神宅賀寿恵先輩は大正四年の卒業生であります。日弁連の会長でありました阿部基吉弁護士（昭7専法）、大阪府庁の部長職を歴任し、代議士でもあった寒川喜一さん（昭8専一法）など、これすべて徳島のご出身であります。

現在、私たち校友会の重要なポストであります代議員会議長を務めていただいている久野文雄さん（昭9大法）は、関大が生んだ〝心の武道〟、日本剣法会の会長として、欧米にまで、その影響力は広がっているのであります。徳島の関大校友の意気は盛んであります。

皆さんのご子弟が、四年間の意義深い学生生活をすごされたあかつきには、これら先輩が、必ずや温かい手をさしのべられることでありましょう。

それにもまして、新進気鋭の後輩をそえて、われら校友会、一体となって社会のため尽さんことを祈念しているのであります。このことこそが関大創立百周年を近く迎える本義であるといえましょう。

20代校友が三割も

中学長を迎え熊本支部総会

熊本支部（藤井計吾支部長）の総会は七月三日午後六時から熊本市内の〝三駒〟で開催された。この日、教育後援会のため来県された中学長も、予定の懇談会を終え、父兄代表三人とともに駆けつけた。校友会本部からは村上副会長、畑下組織部長、神屋敷事務局長が出席した。梅雨前線の大あばれで、被害も出たとさだけに、参加が危ぶまれたが、三十余名が集い盛会だった。

藤井支部長のあいさつで、県内の母校在学生とは、年に一回は交歓の集いをつづけている、などの報告があり、中学長からは〝正義を槌力から守れ〟の建学精神は在野精神の表れで、〝学の実化〟を強調した〝実学〟は、わが大学の特色といえよう。今や〝開かれた大学〟を目指し、産業都市大阪の当面している自治、公害、交通その他諸問題に対する提言など〝大阪学〟の私見を発表して、「学風振興懇談会」を設置し、具体的な検討をすすめている、とのあいさつがあった。

校友会村上副会長（法人監事）からは、母校の創立百周年を数年後にひかえ、大学では記念事業準備懇談会を、これまで十数回開催、近く記念事業計画準備委員会に移行して本格的に準備に着手することになっており、校友会も、これに呼応した活動をするべく準備をすすめていると報告した。

畑下組織部長（法人監事）は、母校ならびに校友会の発展のキーポイントは、校友が連帯の輪をひろげ、親和のきずなで結ばれることであるとし、現在二五七にのぼる組織の現状を分析し、また法人監事として母校の近況について収支決算額、校地、建物、図書館蔵書、学生、教育職員・事務職員数、校友、入学志願者数など、昭和二十八年に比べ、格段の拡大充実ぶりを計数をあげて説明した。

昭和四年福島学舎に学んだ藤井支部長から、ことし経済学部を出た、フレッシュマンの高本文昭君までが、一つの輪となって談論する懇談会場は活気にあふれていた。支部長の提案で、出席者は全員支部の世話役として、次回は、出席者を倍増することを誓いあった。当支部は、県内出身の在学生との集いというユニークな企画を続けていた実りでもあろうが、出席校友の三分の二以上の十余名が二十歳代だった姿は刮目される。

出席者は次の通り。

藤井計吾（推）会社重役、浜田参二郎（昭7大法）会社相談役、篠原一男（昭9専）自営業、松本良雄（昭13大法）会社相談役、篠原一嗣（昭13専法）弁護士、北里善西郎（昭15大経）山善製材㈱社長、斉藤猛（昭16大法）県剣道連盟役員、浜村好信（昭17学）会社顧問、宇野正人（昭19大商）鎮西学園高教諭、下村文夫（昭19専商）、千賀秀道（昭30学一法）熊本弘乳舎、小谷正守（昭38院博経）熊本商科大学教授、石原匡高（昭38学一政）熊本TKUテレビ放送、上野誠一郎（昭38学一経）熊本交通センター、小出貞夫（昭45学一経）近畿日本ツーリスト熊本営業所、柴崎敏博（昭47学一経）熊本市役所、芳崎賢一（昭47学工）、服部幸一郎（昭48学一法）酒店経営、古場徹明（昭49学一法）熊本花畑電話局、高崎宏（昭50学一経）熊本相互銀行駅前支店、古江英夫（昭50学一経）県農協中央会、住吉秀経（昭51学工）井関農機販売、川上智彦（昭52学一法）県庁手城事務所、杉山幸宏（昭52学一法）熊本KTUテレビ放送、本田憲則（昭52学一法）県庁土木事務所、八木田隆文（昭52学一法）県農信基金協会、高木文昭（昭54学一経）。内村食品工㈱、中村達雄（昭32学一経）旭本工㈱、堀江正一（昭32学二経）徳島市役所、福島智賀（昭33学二経）徳島市役所、尾中治（昭34学一経）徳島総合開発㈱、大久保勇（昭35学二法）阿波銀行、井村良朗（昭36学一商）徳島相互銀行、浜本昇一（昭36学一商）ホテル春日、北村政行（昭37学一経）日産建設、佐竹茂則（昭38学一法）県経済連、今井武敏（昭39学一法）㈱大塚製薬、久次米喜晴（昭40学一商）自営、浜中麒久雄（昭41学一法）司法書士、白鷗賢二（昭41学一経）徳島相互銀行、大野順司（昭44学一商）日本観光開発㈱、赤松誠二（昭44学工機）市清掃事務所、伊勢達（昭45学一商）大鵬薬品㈱、安田克良（昭45学一商）県経済連、寺沢雅喜（昭47学一地）阿南市役所。

校友会計人七二〇名

会計人クラブが対応策

関西大学会計人クラブ（吉田鹿之助代表世話人）の第六回総会は六月十五日午後六時から、新阪急ホテルに多数の新入会員を迎えて、盛大に開催された。

当クラブは会計業務に従事する校友の親睦団体として、四十七年三月、大阪会計税理士会名簿から検出された校友会計人四六〇名に呼びかけ、一六〇名の入会者で発足したもの。新規開業の校友の増加に応えるため、このほど日本公認会計士協会名簿などを参照し検索をかさねたところ、校友会計人が決まった。

第二部は趣向をかえ、天王寺動物園の元園長・和田辰巳氏を招いて「動物の生態と奇行」についてのユニークな講演を伺った。

懇親会は立食式として、新入会員との交歓を深めるよう心配りされた。

選出された世話人は次の通り。

（○印は新任者）

代表世話人　吉田鹿之助
代表世話人代理　坂本龍夫
世話人　石川昌司　上田嵩嶺　大浦信三　香山登茂子　○柿本鳳三　梶田淳　川口清　川崎宗一　木村功　国分吉広　篠田要　○多田稔　○徳沢敏　○徳永武　中谷政男　○羽賀順一　畑下辰典　藤原龍太　○宮口明　森田森　矢木孟　○山崎正五郎　○山田栄一　山本光雄　山本守昭　○指咬千之助。

盛り沢山な議案を承認

天六同友会総会

天六同友会（会員一〇二名、畑下辰典会長）は六月十六日午後五時から、大阪北区大融寺の「郵政会館」で第六回総会を開き、五十六名が出席した。

来賓として中学長、久井理事長、樫本校友会長の関大のビッグ・メンバーが出席された。中学長は「関大のよさ、特徴と教学にとり入れ、社会にも生かして行きたいこと〝校友支援〟としての決意を述べられた。久井理事長からは「早・慶倒れようとも関大は健在。私も百歳まで生きる予定で、まだまだ、関大のためにがんばりたい」との力強いあいさつ。

樫本会長は「校友会には地域、職域、同期ならいろんなグループがあるが、中でも天六同友会は、たいへんユニークな存在である。母校百周年をめざした郵便積立制度を始めるなど校友会活動をリードする役割を果たしている」と励まされた。

議事に入り、決算報告では、同友会設立いらい、今年までの健全黒字財政を確認。活動計画では、機関紙「同友会だより」の第10号、第11号の二回発行、秋期研修会の実施、大学創立百周年に向けての月千円の積立貯金の推進など盛り沢山な計画が決まった。

この日、総会の前に鈴木俊郎会員（昭26法・読売テレビ参事）の「上方芸能の源流」についての講演があった。日ごろの研究の一端が披露され、好評だった。

新人祝福とチャリティ

自動車関大会総会開く

自動車業界で働く校友がディーラーのワクを越えて集まり、親睦を図ろうという自動車関大会（矢橋博会長）の総会が、六月八日、大阪・南区のニューミュンヘン南大使館で開かれた。大学から久井理事長、田中工学部教授、校友会本部から村上副会長、畑下組織部長、藤本事務局次長を迎えて開かれた。

大橋次長が「今年は初心にもどって組織を充実するため、準備を進めている。皆さんのご協力を」と呼びかけ、次いで来賓の紹介の後、五十三年度の事業ならびに会計報告、五十四年度の事業計画を審議した。

組織の充実策としては、事業部の拡充をはじめ広報、組織などの部を新設し、会を効率的に運営していくことになり、今後は時機に応じた行事や、研修会などが、この新しい部門で練られ、家族ぐるみの催しもおぼえするという。

議事を終わって、今年、業界に入った新入生が一人ひとり紹介され、大橋会長から記念品が贈られ、門出が祝福された。

第二部の懇親会では、この日のもう一つのイベントであるチャリティ・オークションが開催された。バザールの品は、田中先生が描かれた絵をはじめとして、各会員が持ち寄ったもの。ホーロー鍋やきゅうす、花瓶、骨董品、ボールペンから救急箱、石けん、コーヒーカップ・セット、スプーン・セットなど、など。会場の熱気の中で千円前後の値がつけられ、どんどん落されていった。売上総額は八万八百円也。母校百周年へ向けての基金づくりと、遺族会への寄付に充てられる。（浜田記）

新人会員は次の通り。

城後昌也（商）、清水慎悟（商＝大阪ダイハツ販売）、伊藤要（商猪瀬明保（社）＝マツダオート関西）、曽奈均（法）＝TAP）。

すべては原油価格の行方に

小田教授の講演要旨

この六月の末に、世界経済の動向を左右する二つの大きな会議が相次いで開かれた。一つは、わが国で開かれた東京サミットであり、いま一つはジュネーブで開かれたOPECの総会である。

一九七〇年代に入って、世界の政治や経済の枠組は大きく変わった。いくつかの原因が考えられるが、とくに一九七一年八月のニクソンショックと、一九七三年十月のオイルショックを忘れることができない。というのは、ニクソンショックによって、従来の世界の貿易・通貨体制は大きく変わったし、オイルショックによって、原油価格が大幅に上がり、インフレとデフレが同居するスタグフレーションが一層深刻となったからである。

かくして先進国の間では一九七五年から毎年サミットが開かれるようになったし、同じくインフレに悩む産油国もOPECを通じて次々と原油の値上げを行うようになった。そして、そのような動きにより残された多くの非産油後進国もUNCTADの場で、その苦悩を訴えるようになった。

率直にいって現在までのところこのような多くの問題を解決するための処方箋は書かれていないしまた急ぐ書けそうにもない。しかし少なくとも次のことはいえるであろう。すなわち、各国はそれぞれの立場において、安定的な世界経済の発展をはかるためのコストを負担しなければならないということである。

さて、わが国経済を展望する場合、原油価格がどうなるかが決定的に重要である。最近では国際収支の黒字も大分へったし、アメリカとの貿易摩擦も少なくなった。しかし昨年の十一月から卸売物価が上昇し始めた。この物価上昇には原油の値上げと円安レートによるところが大きいので、今後それらの動きに注目するとともに、きめ細かい金融政策や財政政策を展開する必要があると思われる。

会計人クラブ総会であいさつする吉田代表世話人

内外国
特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
（四ツ橋交差点西角　大花興産ビル2F・3F）
（地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出口隣）
電話　大阪〇六（五三二）七四三一～七四三五

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫
〒550　大阪市西区江戸堀一丁目二五―三〇（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・三九四（四四五）〇一五〇

弁護士　網本浩幸　網本法律事務所　大阪市北区西天満六ノ七ノ四　電話　〇六（201）〇五〇〇
弁護士　一軸浩幸　大阪市北区西天満三ノ五ノ三　電話　〇六（364）〇二四一（代）
弁護士　宇津呂雄章　大阪市東区唐物町四ノ五五　永和ビル二三階　電話　〇六（233）〇〇六七（代）
上坂合同法律事務所　弁護士　上坂明　大阪市淡路区元町二ノ五ノ五　ナンバプラザビル（隣）三号　電話　〇六（633）五七七七（代）
弁護士　上原洋允　弁護士　水田利裕　弁護士　小杉茂雄　弁護士　関根幹雄　大阪市北区西天満六ノ七ノ四　大阪弁護士ビル四〇五号　電話　〇六（364）〇三三一（代）
弁護士　植垣幸雄　大阪市東区博労町二ノ四　中博ビル　電話　〇六（261）五三七一
弁護士　岸井八束　大阪市東区北浜一ノ二七　中井ビル六階　電話　〇六（231）五八〇九
弁護士　木村吉治
弁護士　木村楢太郎　大阪市天王寺区上本町八ノ六（バス上八西側停留所前）　電話　〇六（771）六六一五（代）
関西法律特許事務所　村林隆一　小泉哲二　今中利昭　井原紀昭　吉村洋　千田適　深井清　大阪市北区曽根崎二ノ一ノ二　国道ビル
弁護士　川見公直　大阪市北区西天満六ノ七ノ四　大阪弁護士ビル九〇三号室　電話　〇六（364）二四〇六（代）
弁護士　川根洋三　大阪市北区西天満六ノ七ノ四　大阪弁護士ビル八一〇号室　電話　〇六（364）二一〇〇（代）
暑中お見舞申し上げます　校友弁護士有志
弁護士　岡田尚明　大阪市北区西天満二ノ八ノ一　大江ビル三二三号室　電話　〇六（365）五三三八
弁護士　小寺一矢　大阪市北区西天満四ノ四ノ一八　梅ケ枝中央ビル四階　電話　〇六（365）一四八〇（代）　自宅　長岡京市梅ケ丘二ノ四一　電話　〇七五（921）一六二九
弁護士　大月伸　大阪市西区江戸堀一ノ一一二　大同ビル七三三号室　電話　〇六（441）二六七一
弁護士　小林則夫　大阪市北区西天満四ノ三ノ三　小松ビル四階　電話　〇六（364）四六〇六
押谷富三
弁護士　加堂正一　大阪市福島区福島一ノ四ノ一六　電話　〇六（451）六〇六二
弁護士　佐野實　大阪市北区西天満一ノ六ノ七　藤ビル二階　電話　〇六（361）七五八八
笹川法律事務所　弁護士　笹川俊彦　大阪市東区伏見町二ノ一九　Jビル五階五〇一号室　電話　〇六（228）〇〇八八（代）
関西大学校友会々長　弁護士　樫本信雄　大阪市北区曽根崎新地一ノ三ノ八　毎日産業ビル四階　電話　〇六（345）五一四〇
弁護士　澁川鶴蔵　大阪市北区西天満二ノ五ノ一二　電話　〇六（364）五三四〇
片山俊一法律事務所　弁護士　片山俊一　大阪市北区西天満三ノ三ノ九　高橋ビル西四号館六階　電話　〇六（364）三九九三
近畿合同法律事務所　代表者　弁護士　下村末治　大阪市北区西天満四ノ四ノ一八　梅ケ枝中央ビル九階　電話　〇六（365）六六三一（代）

コンピュータ時代をリードする―
印刷の東洋紙業
●営業品目
オフセット・活版・グラビヤ各種印刷
オフセット輪転印刷・電算機用品印刷
紙器・紙袋他各種包装資材の
企画・製造・販売・出版
最高の印刷技術と総合企画
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪（芦原・平野・美原・東大阪）・東京（南品川・横浜）・広島出張所・札幌
本社（06）562－0051・東京支社（03）474－3251・広島（082）46－7972

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660　尼崎市杭瀬北新町1丁目3番地　電話　大阪（481）8807～0番（代表）・（489）3041番
東京営業所　〒176　東京都練馬区早宮2丁目26番25号　電話　東京（932）6266～7番

営業科目
人工芝（グラウンド用・テニスコート用・プールサイド用・バルコニー用・其他）販売
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六―八―二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
新家工業株式会社
大阪市西淀川区竹島1―1
TEL 06-474-1313（代表）

お時間拝借

校友あれこれ対談〈84〉

三洋電機㈱ 技術本部・中央研究所員 前田 亮氏

聞き手 吉田 三七雄

ネパールに魅かれる

ひとりぽっち山男の弁

吉田 いつも単独、アルプスの山々を歩き、山の写真を撮り続けていられることが、最近の話題としてチラチラ耳に入ってくるんですが、山がお好きなんですか？ もちろん、好きだから登られるんでしょうが(笑)。

前田 山は小さいときから好きなんです。家の裏山が六甲でして、小学生のときから山を駆け歩いていたんです。

吉田 それじゃ、学生時代は山岳部に入っていたんですか？

前田 いいえ、中学、高校ではサッカーをやっていたんです。父もサッカーが好きで、父に習って小さいころからボールを蹴っていました。しかしこのほうは、もうひとつ素質がなかったのか、高校ではほかの者にレギュラーを取られてしまった。だから関大ではサッカーをやらずに、鉄道研究会に入っていたんです。

吉田 鉄道研究会！ 知らんなあ。そんなものがあるんですか。

前田 鉄道に関するいろんな調査研究から、いわゆるマニア的なものもふくめて、いまでは相当数の学生が、この会に入っています。

吉田 たとえば、SL（エスエル）の写真を撮影するのも、この研究会？

前田 そうです。実はぼくも、そのSLを撮影するためにこの会に入って、日本国中を飛び回りました。それも、普通のひとが行けないような、険しい道をかきわけて、身体中傷だらけになってカメラを据えるんです。

吉田 なるほど、そんなことからアルプスのひとり歩きが生まれてきたんだな。なんとなくそのわけがわかってきたようです。

前田 別にそれがキッカケになったわけでもないんですが、だれもあんまり行かないようなところで、自分の好きなアングルで写真を撮りたいという気持ちが頭をもち上げてきたのは、やっぱりそんなところに根があったのかもしれませんねえ。

吉田 それで、アプルスを狙うようになったのは？

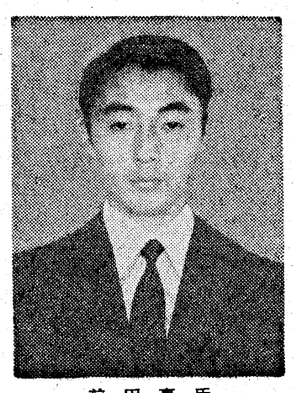
前田 ぼくは、アルプスでも特にネパールが好きなんです。そこには世界一の山があります しぞの山は、日本の山のように汚されていないからです。しかし山の頂上をきわめることが目的でなく、ぼくは、その山とともに生きている人達の生活の中へ飛びこんでゆくことに、なんともいえないような魅力を感じるんです。どんな魅力だと聞かれても口では言えないんですが。だからぼくの撮る写真は、山の姿だけじゃなく、その山とともに生きている人達の、家があったり、畑があったり、動物がいたり、いつも、なにかがくっついているんです。山とともに生きている人達はセルパ族が大部ですが、山を案内してくれるセルパ・ポーターとの友好だけじゃなく、ぼくはその家族、とくに子供達の中に飛びこんで、ぼくも子供になって一緒に遊ぶことが、とても楽しいんです。ネパールの人達は日本と似たところが多く、顔も同じだし、においも同じです。低地では米を作って食べているのも日本人と同じことです。ただ言葉が違うだけで、ぼくには、その人達が異民族のようには思えないんです。

吉田 そんなところへ飛びこんで、ネパールの人達と友好を深めているのも、いつもひとりぽっちなんでしょう？

前田 ええ。いつもひとりで。もちろん、現地へ着くまでは団体のほうがうんと安いので、どこかの団体の中へ入れてもらいますが、向こうへ着けば団体行動から分かれて、ひとりで行動します。

吉田 そういう変な聞き方ですがいつもひとりぼっちだということは、つねに孤独を愛し、ひとりぽっちでいたいということですか？

前田 とんでもありません。友達つき合いが悪いというわけでもありませんし、むしろいいほうだと思っています。職場でもプロジェクトチームの中に入って、みんなと仲良く働っています。ぼくがネパールへひとりぽっちで行くということは、そんなところまで行って、ぼくの考えていることと、ほかのひとの考えていることが、ちょっとでも違っていたりすると、お互いに妙なところで遠慮したり、妥協しなければならないような芸術本部中央研究所・第二研究部・技術部・中央研究所員。昭和43年工機卒。三洋電機㈱技術本部中央研究所・第二研究部。



前田亮氏

他大学の応援団OBも多数列席していただいての千成会祝典

〝心意気〟に集う一二百名

千成会 創設20周年記念総会

熱と意気をうたう千成会の創設二十周年記念総会が六月二十三日午後五時半から大阪北のマルビル・大阪第一ホテルで盛大に開かれた。別府の西村匡雄さん（昭14）、佐賀の大塚泰助さん（昭19）、東京から細川喜与見さん（昭20）。地元大阪からは大先輩の八沢倶好さん（昭3）を筆頭に藤木吾朗生さん（昭16）ら戦前の〝学園名物男〟がずらり。北海道の森本護さん（昭34）といった最近の猛者の顔も。その数、百五十人にはのぼっていた。

圧巻は五十名を超える来賓陣。学長、理事長、校友会長。かつて応援団顧問をしていただいた鋳方真晃名誉教授が、現在顧問の津川正幸教授につきそわれての姿もみえた。大島鎌吉体育OB会長、矢野文雄校友会代議員会議長も。他大学応援団OBのご出席も多かった。関学、同志社、立命、近大の地元校をはじめ東京の明大、中央の応援団OBの方も。名古屋商科大学の学生課長もこられていた。

総会式典は、物故者への黙とうから始められた。今回の集いの実行委員長の北屋泰男氏があいさつに立ち「半歳にわたって準備企画委員会を二十余回も積ねてきた。諸先輩、体育各部OBの心からなるご協力で、きょうの日を迎えられた」と、感謝で絶句する。

久井理事長、中学長、樫本校友会長から、それぞれ根性を、情熱を、友愛を讃えた言葉をいただき、片岡恒次郎会長が、今後の飛躍を誓って決意を披瀝すれば、会場は心意気に燃えあがる。

片岡会長から高橋道郎幹事長ら三名に表彰状が贈られ、現役応援団にも援助の目録が渡された。

片岡会長へ 大学の感謝状

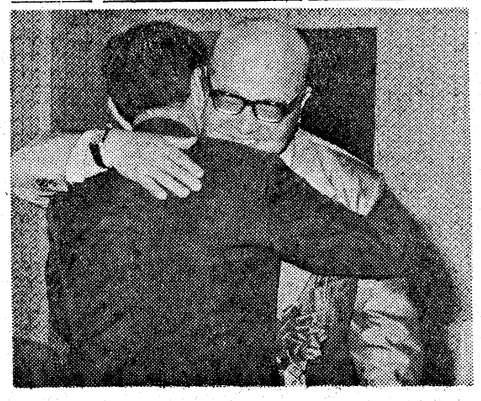
ここで大学側からの記念品と感謝状（別掲）が久井理事長から片岡会長に贈呈され、両者感涙でしばしだきあう。応援団歌が会場二百人の声で歌いあげられた。

〈一九二三年 春四月
緑の精を摂津野に
我等を生みて輝ける
千里山上の赤き血潮
燃えて紅 花と化す

千里山応援団（予科・大正十三年結団）初代団長といわれる八沢先輩は「この歌こそ、大学昇格の喜びと、明日への決意をこめてつくったもの。この青春の熱っぽさというものを、いま一度、全員で思いなおし、将来を誓ってほしい」といっておられた。

なお、総会では片岡会長の留任、上野勝也（昭22）、清水貞夫（昭26）、小坂道一（昭28）の三副会長と福永利一幹事長（昭28）だけが選出され、その他の役員および、規約は新三役を中心に若い会員の息吹きをくみいれ、早急に決めることになった。

懇親パーティは実行副委員長の小野永一朗氏（映画俳優・鶴田浩二）のあいさつで華やかにくりひろげられた。



〝片岡さんありがとう〟と肩を組む久井理事長（右）

感謝状

あなたは、在学中は応援団長として学園親和と関大生気質・根性の中核でありましたが、卒業後も、その母校愛をますます高められて、関西大学千成会を創設され、〝校友応援団長〟として関大人結集のバトス的活躍を続けておられます。

戦後の価値感の多様化現象にともない、自己表現が顕著な中で、あなたのあまりにも控え目な、あまりにも静かな行動は、対照的、異例であったともいえましょうが、そのことこそが、去る昭和五十一年春に校友有志多数の温かい心で、千里山キャンパスに「全関大人の慰霊碑」が建立された運動の原動力、推進力となったといっても過言ではありません。

たぐいなき学園、母なる関大への永遠の回帰を、学生に、校友に、また社会一般に具現化された功績は、あなたの〝無言の美学〟のために、ことさらに讃える世人であるなく、そのことは、あなたの欲する生き方でもありましょう。しかしあなたが永遠なる関西大学の歴史の輝かしい記録であることは、関西大学の名誉であります。

千成会創設二十周年の記念総会にさいし、ここに記念品を贈呈し、深甚な敬意と感謝の誠を捧げます。

理事長 久井 忠雄
学長 中 義勝

大阪国税局異動

―本学関係分―
（カッコ内は前職）

（7月10日付）
▽奥野 正則（昭24専二法）大阪国税不服審判所部長審判官（調査審理課長）
▽中上 光雄（昭23専二商）事務管理第一課長（調査統計課長）
▽戸谷 晴治（昭34学二法）資料調査第二課長（調査部特別調査官）
▽西村 和典（昭37学二法）徴収部総務官（同統括徴収官）
▽奥野 芳男（昭25専二商）調査審理課長（伊丹署長）
▽奥野 辰三（昭28短二）調査部特別調査官（神戸主任相談官）
▽橋本 一男（昭25専二法）西署長（調査特別調査官）
▽西原 優（昭21大経）伊丹署長（査察総括課長）
▽山本 秀一（昭24大法）須磨副署長（統括査察官）
▽木村 傑（昭26学一商）税務大総括教育官（同主任教育官）
▽竹田 二郎（昭25学一経）大阪国税不服審判所副審判官（直税訟務官室総括主査）
退職
▽佐伯 尚男（昭26専二商）調査統括調査官
▽中西 彦一（昭24大経）粉河署長

金沢に55名集う

組織を生かす石川支部

石川支部では六月二十三日、金沢市清川町のセンチュリープラザで今年度の通常総会を開き、母校から遠くはなれた地方の〝県域支部〟としては、異例の五十五名もの校友が集まった。

同支部は四十八年に再建されていらい、六月の定期総会のほか、新年会、夏には家族懇親会を催して連帯の絆をかためている。それにもまして、各種の役職をつくり役員も五十七名。各自が組織の一端を確実になう姿で、広大にして交通不便の石川県下全域を掌握している。今回は校友会本部発行の昭和五十一年度版の校友名簿を電話その他、実地調査により洗い直して、二百五十人の地区校友の〝完会簿〟を作製した。

役員（五十七名）は次の通り。

支部長 松林禧作（昭23大経）
幹事長 高橋正憲（昭30学一経）
副幹事長 坂本孝（昭30学一経）
田村道男（昭32学一商）
常任理事 青山澄夫（昭32学一商・能登地区部会長）、二木正八（昭30学一経・金沢地区部会長）角谷昌美（昭36学一経・加賀地区部会長）
会計 卯野和臣（昭44学一商）
監事 石田文昭（昭49学工管）、小川秀一（昭45学一法）
事務局長 西盛祐吉郎（昭45学一法）
常任相談役 四名。**相談役** 八名
理事 十七名。**幹事** 十七名。

支部への連絡は〒920金沢市下近江町四四―二、電話〇七六二―31―七四九三番の高橋幹事長宅か、〒920.12石川県河北郡高松町二ツ屋、電話〇七六二―81―〇三四番の西盛事務局長宅まで。

校区別懇親会

柏原支部総会で決定

柏原支部（石幸利康会長）は、五月二十七日午後、柏原市安堂町の市民会館で定期総会を開いた。

校友会本部や八尾、藤井寺など近隣支部代表ら来賓をはじめ、約六十名の会員が出席した。

挨拶に立った石幸会長は「現会員は百二十名ほどである。今年も新卒業生を迎えるのをはじめ、市内在住者の確認急き、会員を網羅するつもりで努力したい。また内部充実としては、校区別の懇親会を開くほか、専門部を設けて和を市内全域に拡大したい」と述べた。

八尾支部長の水野氏は、「地域支部の運営はとても困難だ。八尾は創立二十周年を迎え、一千三百名の会員がいるが、総会だけでは親睦を深めがたい。今後、近隣支部との連携を深めていこう」と励ました。（柏原支部機関紙・鳳翼七月一日号から）。

叙勲二会員讃える

弁理士関大会臨時総会で

弁理士関大会（山根餐蔵会長）は六月十七日に、二十五名の会員の出席の下、奥新和歌浦「北村荘グランドホテル」で臨時総会と叙勲祝賓会を行った。当日は晴天に恵まれ、南海電車で和歌山入りした一行は、和歌山城の見学を経て会場に着いた。

臨時総会では、新役員の紹介、庶務、会計の報告、昨年度の弁理士試験に合格の東尾正博氏（昭49院修私）の紹介があった。続いて、今春叙勲を受けられた岸本芳夫（昭4専法）、藤原忠義（昭7大法）両氏への祝辞が大島武夫氏から述べられて記念品を贈呈。両氏の挨拶があった。

懇親会は、日本舞踊、民謡ショー、のど自慢と盛り沢山。学歌斉唱、万歳三唱で閉会した。（辻本記）

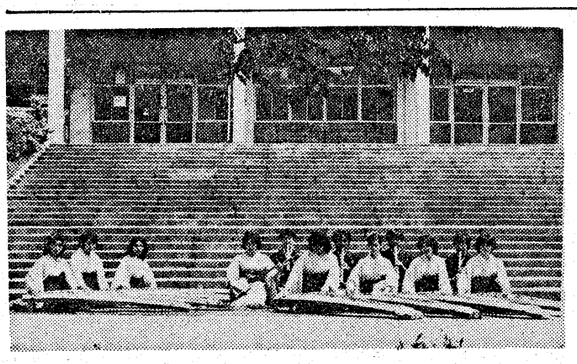
元気に走っています

欧州走破の岸野君から一報

前号・二七号（六月十五日付）で報道しました欧州二十三カ国、一万㌔サイクリング走破の法学部四回生・岸野隆司君から葉書がとどく。六月二十八日、フィンランド、ツルクのキャンプ場から。

元気にやっています。右側を走るのにも大分なれたけど、超大型（二〇〇㌔を超える）のトラックが、一〇〇㌔の制限スピードいっぱいで走っているのでこわい。天気はよく、雨には会っていない。装備が多く、一日五〇―六〇㌔がやっと。その上にかなりアップ、ダウンがある。この国はフィンランド語なので、英語はあまり通じない。マーケットで食料品を買うが、砂糖と塩がわからなくて、なめてみて買う始末。最初のヘルシンキのコースでゴムヒモラッパをとられる。次のローヒアでサローネンというサイクリストと友人になり、大変多くのことをし、古い本をもらう。その町でローカル紙の記者に英語でインタビューをされる。

外国へくると、日本人も外人だとつくづく感う。みんながよってくるし、おもしろい。サヨナラ！



無人のキャンパスに邦楽の音が

大学が夏休みに入って最初の日曜日。七月一日の昼下がり、もの静かな千里山キャンパスに邦楽の音が流れていた。

邦楽部の有志が、しばしの別れの調べをかなでたのであるが、八月二十日からは小豆島で夏期合宿。十一月十一日、大阪森の宮府立青少年会館で演奏を予定している「第二十回邦楽の夕」のための強化練習に取り組むという。

部員は尺八が十三名、琴十八名に長唄六名の三十七名。創部いらい三十三年間、村治流尺八の木下登一師匠の献身的な指導で、ここまできた、と林修一主将は話している。

部のモットーは質実剛健と礼儀を重んじること。校友のみなさん、十二月定期演奏会には、ご家族で……。

学生移動法律相談所

八月に福山、尾道、三原市へ

学生法律相談所が八月二十日から備後路で〝移動相談室〟を開き、庶民の悩みに取り組む。

法律相談所員である六十四名の法学部学生に、岩本慧、明石三郎、岩崎憲次、国府剛、沢井裕の五教授、永田真三郎助教授、千藤洋三専任講師が同行する。

先輩の上原洋允、柴山誉之、小寺一矢、吉野和昭、川合宏宜の五弁護士も応援参加される。

二十日　福山市民会館
二十一日　尾道市公会堂別館
二十二日　三原市民福祉会館

なお二行の宿泊場所は十九日から二十二日まで、福山市引野町の備後ハイツ。電話は〇八四九―41―三九二三。地元校友のご協力をお願いします。

二部葦の葉祭り

九月二日 10年ぶりに

第二部文化会の「葦の葉祭」が、「翔べ！ 叫べ！ 熱くなれ！ 葦の葉ルネッサンス」を統一テーマに、九月二日午前十時から午後八時まで、大阪府立労働センターで開催する。

各クラブの合同発表会として、文化会の伝統行事であったが、ここ十年ぐらい途絶えていた。ことしは文化会創立三十周年に当たることから、復活の機運が芽生えた。久方ぶりの復活のため、OBの物・心両面の援助をつけ、練習に展示準備に夏休み返上で、がんばるという。文化会クラブは十四部を数える。

二部門で全国大会出場

NHK杯放送コンテスト

関大一高

関大一高は第二十六回NHK杯・全国高校放送コンテストに参加し、六月十七日の大阪大会の決勝で、朗読部門で一位、ラジオ番組製作部門で二位となった。

朗読で一位になったのは、三年生の木下俊平君で夏目漱石の「夢十夜」を。またラジオ番組製作部門で二位となった自由作品のテーマは「ホームルーム論争」。両部門とも夏休み中に行われる全国大会に出ることになった。

水の事故

死者の統計を調べると六～八月に約五〇％が集中している。やはり水が恋しくなる季節の水泳事故は多い。

毎年水の惨禍を聞き、幼児や年少者の痛ましい犠牲にドウにかならないかと思う。しかし実際は、高校生以上の年齢層に犠牲者が圧倒的に多いのはドウしたことだろう。

九州宮崎県の日南海岸は風光明媚なことで有名。ドライブを楽しむには、なおさら結構。夏の昼下がり、長時間の運転に飽いたころ、蒼い水に魅せられてザンブと飛び込みたくなるのが人情。だが、黒潮の厳しさを見ぴって、水死する人が後を絶たない。犠牲者は大阪や東京ナンバーの人に多いそうである。

いわゆる防衛能力を持つ大人の事故は自ら招引することが多い。水泳指導の鉄則は、〈安全な水泳〉、〈安全確認の仲間づくり〉、〈ワザはたらき〉を慎しむ〉ことを基盤にしている。

さて、子供は〈水〉をいじるのが生来好きである。水の変化には没我してしまう。幼なげな子供の事故を起こさないためには周囲の目が大切だろう。水の事故は死に結ぶこと。水の安全〉を再考したい。

（体育学教室助教授 伴 義孝）

健康手帳

理料亭 大万 季節御料理
松竹 (211) 一一四七 三八〇八
大阪市北区西天満二ノ一〇ノ五 電話〇六(363)二四一三

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
大阪店 阪急三番街／ウメダ地下センター／阪急32番街
梅田新道／難波戎橋筋／ミナミ地下センター
南OSプラザ／阪急川西能勢口駅前／府道茨木警察署北
東京店 有楽町／日比谷／渋谷／蒲田／池袋／新宿
千葉店 千葉セントラルプラザ／イトーヨーカドー津田沼店
札幌店 丸井今井本店 仙台店 仙台ジャスコシティー 浜松店 松菱
博多店 西鉄天神コア

阪神法律事務所
弁護士 鈴江 勝
大阪市北区西天満四ノ一〇ノ三 楠田ビル 電話〇六(364)一九二七(代)

関田政雄法律事務所
弁護士 関田政雄
弁護士 中山 巧
大阪市北区西天満二ノ八ノ一 大江ビル 電話〇六(364)〇九六七(代)

弁護士 田中藤作

第一法律事務所
弁護士 鷹取重信
弁護士 家近正直
大阪市北区西天満六ノ一ノ二 千代田ビル別館六階 電話(361)五四九一(364)二八六九

竹内・井上法律事務所
弁護士 竹内知行
弁護士 井上克巳
弁護士 仲辻 章
大阪市北区西天満二ノ一〇ノ九 電話(361)六三八五(364)六八八一

弁護士 田村徳夫
大阪市北区西天満二ノ六ノ八 堂ビル六階 電話 〇六(363)五三五三(代)

弁護士 西浦義一
弁護士 西浦一明
大阪市北区西天満四ノ七ノ一 北ビル一号館五〇八号室 電話 〇六(365)七六〇〇(代)

長山総合法律事務所
弁護士 長山 亨
弁護士 長山淳一
大阪市北区西天満四ノ七ノ一 第三青山ビル二階三〇二号室 電話 〇六(362)八一四一(代)

弁護士 長濱 靖
大阪市北区梅田一ノ二ノ二 大阪駅前第一ビル二階 電話 〇六(346)〇五一七(代)

弁護士 中藤幸太郎
大阪市北区西天満四ノ一〇ノ五 ニュー三栄ビル三階三号室 電話 〇六(363)二四一三

弁護士 谷口茂高
弁護士 千本忠一
大阪市北区西天満六ノ七ノ四 大阪弁護士ビル五階五一号 電話〇六(361)三三六五(代)

弁護士 段林作太郎
大阪市北区西天満二ノ一ノ八 (高等裁判所東門北角) 電話 〇六(364)〇一六九 (364)三〇一四

弁護士 得本嘉三
大阪市北区西天満四ノ一ノ二 昭栄ビル南館一階 電話 〇六(364)一一〇六七 自宅 〇七二二(9)三二五一

弁護士 鳥巣新一
弁護士 岡野一隆
弁護士 野中英世
大阪市東区淡路町二 野口ビル四階 電話 〇六(202)〇二〇六 (231)八四一六

弁護士 中谷 茂
大阪市北区西天満四ノ一〇ノ八 梅ケ枝中央ビル八階 電話 〇六(364)六五七八(代)

暑中お見舞申し上げます
校友弁護士有志

棚野誠幸法律事務所
弁護士 棚野誠幸
大阪市東区備後町三ノ二五 長谷ビル四階四〇一号 電話 〇六(261)三三一四

御堂筋法律事務所
弁護士 仁藤一
弁護士 冬柴鉄三
大阪市南区塩町通四ノ一八 豊田ビル二階 電話 〇六(251)七二六六(代)

弁護士 安富敬作
大阪市北区西天満一ノ七ノ二 新なにわビル三階 電話〇六(363)二八〇二(代)

弁護士 弓場晴男
大阪市北区西天満一ノ七ノ二 新なにわビル四階 電話 〇六(364)六〇一二

和田法律事務所
弁護士 和田栄重
弁護士 片山久江
大阪市北区西天満二ノ二ノ一五 千都ビル三階 電話〇六(361)〇三三 (365)〇三三

弁護士 渡辺敏泰
大阪市北区西天満二ノ二ノ一五 北ビル一号館二〇二号室 電話 〇六(362)六八一九

弁護士 渡部孝雄
大阪市北区西天満二ノ五ノ一八 第三新興ビル五〇三号室 電話 〇六(362)七三九一(代)

運転免許は校友がお世話する
〝大阪鶴見の〟、公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待関大証
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

岡山建設株式会社
代表取締役 岡本新作
取締役 木村勝重
監査役 小林正立
本社 大阪市東区北久太郎町5丁目22 電話大阪(06)251―5551(代)
〒541
豊岡営業所 豊岡市九日市下町字青屋207―1 電話(07962)3―1594
〒668
泉北営業所 大阪府堺市榊361―1 電話(0722)91―9621番・9622番
〒590-01

大阪の中のフランス
クリヨン
新入社員歓迎会・同窓会にどうぞ
●純フランス料理 クリヨン 新阪急ホテル北隣・北阪急ビル2F 06―372―5762
●ジャンヌダルク 新阪急ホテル北隣・ギャザ阪神6F 06―373―2325
●シェ・クリヨン 阪急グランドビル32番街 06―315―8325
●ビストロ・ド・クリヨン 阪急三番街 06―372―8174
代表取締役 小林一達
営業支配人 下村八郎
昭39年卒業生

TOMORROW! たしかな明日のために 住友信託銀行
財産づくりの早道！
住友の財産形成信託
●㊀300万円と合わせて800万円まで非課税。
●積立金は1,000円単位でしかも給料・ボーナスから天引きです。
●積立金は元金保証の住友の金銭信託・貸付信託を中心に運用しますから安全で高利回りです。
たしかな明日のために……
幅広い業務をお役立てください。
住友の貸付信託・住友のルック〈海外旅行〉信託
住友の金銭信託・住友の交通安全信託
普通預金・通知預金・定期預金
不動産の売買の仲介・株式代理売買など
●くわしい資料をお送りします。
下記の住友信託銀行へご請求ください。
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目(新住友ビル)
電話(06)220-2121(代) 郵便番号541

アマゾンからインカの遺跡へ

南米三週間の旅

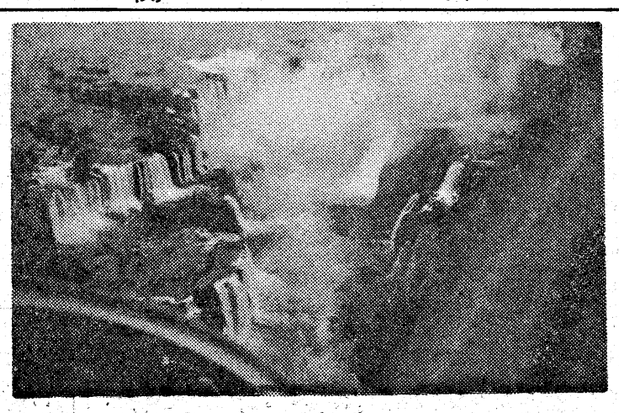
苗村　七郎（昭18大経）

このほど校友会広報部の苗村七郎氏（昭18大経・民芸関社長）が「南米三週間」の旅をきれた。サンパウロ市で会談された、ブラジル日本文化協会の相場真一会長は、去る四月に亡くなられた正井敬次元学長を、若き銀行員時代から崇拝されていたという奇縁。地球の裏側で、その論文「貨幣価値の研究」をたたえ、その人柄を偲び、ともに手をとりあって号泣したともいう。苗村氏は自費出版の「よろづよに」と、「万世特攻隊員の遺書」（現代評論社）の二冊の著書を文化協会図書館に寄贈された。一政治的にも、イデオロギー的にも全く白紙であり、まして戦争礼賛でもない。さらにまたこれを"反戦"の材料にもしたくない」。ただただ、散った若者たちの至純の魂を手捻に、という願いが、帰国後、現地の新聞・パウリスタに大きく掲載され、日系コロニアの間で貸出し込みが殺到しているという……。以下は苗村氏の「南米飛びある記」。校友のみなさんに、緑陰での憩いの読物にでもと思い掲載した——。

世界最大の川"アマゾン"。全長六、二〇〇㌔、川幅は広いところで九〇㌔もあり、赤道直下から南緯五度の間を流れる。そのアマゾンの中にさん然と栄えている国際都市、それが「マナオス」だ。川口より一、八〇〇㌔のところにあり、二万ト級の巨船が入港できる自由貿易港。マナオスのボンダ・ベラーダ空港にはサンフランシスコから、ひと飛びなのに、飛行機事故のおおりで、中距離機に変更され、フロリダに近いサン・アントニオで着陸、メキシコ市に一泊、パナマ、ボゴダ（コロンビア国首都）と給油を続け、マナオスに着いたのは、日本を出て三日目の現地時間の夜二時半だった。

入国審査の所持品調べは厳しく、カメラのレンズ番号の提出まで求められ驚いた。

翌朝眠むけ眼で見たアマゾンは海である。見えたものは対岸でなく島であるという。船でソリモンエスの奇観（茶色の水と、黒い水が渦巻きながら混じり合うことなく数㌔も果てしなく流れる）をみる。これはENCONTRO・DAS・AGUAS（エンコントロ・ダス・アーグアス）と呼ばれる現象で、船が進むにつれ、海にいるはずのイルカが一、八〇〇㌔も遡ってきてわれわれを歓迎する。流れの下に恐ろしいピラニヤがいるのも忘れ、船から身を乗りだして、シャッターを切る。


ヘリコプターから撮った水煙でおおわれたイグアスーの滝の偉観

大密林を三時間飛び、ブラジリアで給油、さらに二時間の飛行の後、リオデジャネイロのカレオン国際空港に着く。リオはあまりにも美しく、あまりにも有名なので割愛しよう。

地球の裏側で正井先生偲ぶ

サンパウロはブラジル一番の都市であり、南米最大の工業地帯である。ここでは、地元のパウリスタ新聞の田中光義編集長とブラジル日本文化協会の相場真一会長（南米銀行・南米投資銀行、南米安田保険など十数社の社長でありブラジル財界の大立て物）に会う。

日本移民七〇年祭、コロニアの話、ことに勝ち組、負け組のことなど話題はつきない。拙著二冊を文化協会に寄贈する。相場会長は、この四月に亡くなられたわが恩師、正井敬次元学長先生を知っておられ、その著「貨幣価値の研究」を高く評価せられた。この地球の裏側のブラジルで、正井先生の訃報を伝え、ともにその人柄を称えたことは、まことに奇縁、感沈の極みであった。

相場・ブラジル日本文化協会長（左）と正井元学長をしのぶ苗村氏

三十九歳の日系政治家、伊波興之サンビセント市長（サンパウロの外港、サントスの隣りの一大リゾート地）や、中南米研究会（関大にも文化部の中にある）出身でほとんど最後の移住者と思える昭和三十九年関学卒業のSEIGEO北山氏（二重国籍）とも歓談ができたのはうれしかった。

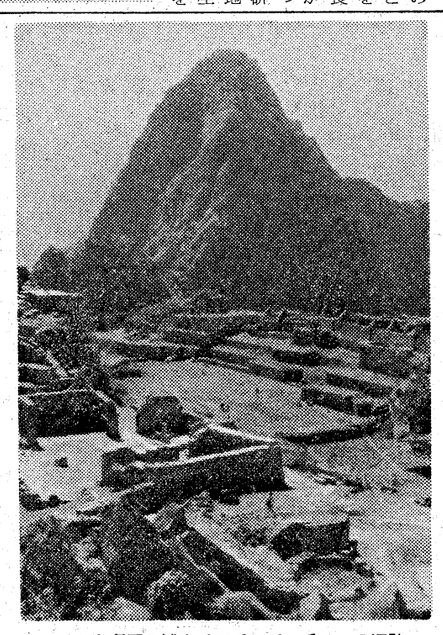
イグアスーの滝布を空から

サンパウロから飛行機で二時間半、イグアスーの滝は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの三国にまたがる大瀑布である。滝幅四㌔、総数二八七本、最大落差一五〇㍍、その豪快さ、そのスケールは、ナイアガラの滝も導く及ばない。すさまじいごう音は二五㌔も離れた地点にまで達するという。ヘリコプターに乗り、空から滝を撮影できたのは一生涯の思い出となった。

イグアスー空港からパラナ川に沿って飛ぶと、緑の沃野が続く。これがパンパス（草原）で、もうアルゼンチンのブエノスアイレスだ。さすが"南米のパリ"の名に恥ぬ大都会である。地下鉄も東京より十年早く開通している。マージョ広場、七月九日大通り、イタリア移民の多いラ・ボッカなどを見物した。

北西五〇㌔のエスコバール市に立寄る。ここは日系人二〇〇家族、約一、〇〇〇名が住み、温室栽培でバラやら電照菊をブエノスアイレスの花市場に出荷している。日系ベレンクラブ会長の松原信孝氏（六十歳・札幌市出身）の自宅を見せてもらう。五千坪の敷地に温室が並び、露地にはレモン、温州みかん、キャベツ、懐かしい日本の梅、桜、模が植えられていた。

この日は六月第三日曜日の「父の日」であったので、日本人クラブで二世の男女青年部が、一人ひとりの父親に、娘はお菓子類、息子は記念品、母親は汁かけうどんなどをプレゼント、私もそのお相伴にあずかり、もう日本では忘れられた心温まる情景に感激しうらやましく思った。


インカ帝国の城塞〝マチュピッチュ〟の遺跡

クスコの石畳に幻想の世界

山間の世界一恐ろしい飛行場に着陸する。ここが、海抜三、八〇〇㍍インカ帝国の古都・クスコである。写真などをみて、観光用程度と思っていた、山高帽をかぶりカラフルなスカートを幾重にも着た女、美しいポンチョを着た男たちが往来し、インカ時代の石畳の道路や遺物が街のいたるところに残る。昔と変わらぬインデオの風俗は、われわれを未開の幻想の世界に引き入れずにはおかない。その模様替えも、いま流行のインベーダーそっくりのものがあり、火星人がアンデスに降りたという俗説がうなづける。

巨大な石積建築で、世界にも類をみない「かみそりの刃も入らぬ」といわれる堅牢さを誇る「サクサワマンの城塞」ではあと数日で行われる"太陽の祭り"の準備がなされていた。

垂直に切り立った五五〇㍍の絶壁の上に六十四年前に発見された、幻のインカ帝国の要塞都市"マチュピッチュ"があった。はるか下にはアマゾンの源流ウルバンバ川が三方を取り囲み、こんな絶壁の上にどうして遺跡があるのか、いまだにその起源を始め、多くの謎は学者ならずとも心躍らすものがある。

遺跡は神殿、宮殿、祭壇、住居、太陽時計、水道、百余の段階など約三百の精巧な石積建築で造られた城塞都市が、何世紀にもわたって、幾多のペルー大地震にも耐え残った、この遺跡からインカ帝国の栄華を偲ぶことは容易であり、われわれの空想を楽しましてくれる。

これほどまでの見事な都市が、なぜ廃都と化したか？、これらの謎が"空中に失われた都市"の名にふさわしい。

畜産王国に肉なしデー

アルゼンチンでもインフレは激しく、一カ月七～八㌫、年八〇～九〇㌫の上昇、ドルも一週間一〇ペソも上昇税は三〇㌫、食糧だけは安いようだが、国策で月に十日間の肉なしデーがあり、想像していた"畜産王国アルゼンチン"とは程遠いものがあった。

夜はタンゴのクラブ・カーニョ・カトルセに行く。盛大な拍手があり、なにごとかとみると、われわれの席の二、三メートルのところへペルー大統領が着席された。クーデターなど政情不安の南米で、あまりにも簡単な警備に驚いてしまった。

またブラジルでは、祖国日本の「ソ連・国後・択捉基地を強化」と六月十二日付サンパウロ新聞は第二国際四面に余白を使い写真数枚入りの報道をしてわれわれを驚かせた。知らぬは、気楽な日本国民だけではないだろうか。

いよいよ今度の旅のハイライト「インカ帝国」である。

ブエノスアイレスから、チリの首都「サンチャゴ」経由、ペルーの首都「リマ」に着く。砂漠の街"リマ"を覆っていた厚い層雲をぬけると、そこにはあっと驚く六〇〇〇㍍のアンデスの雪をいただいた連峰があった。息を飲む景色とはこのことだろう。眼下三～四〇〇〇㍍の山の頂上あるいは鞍部に点々と緑の部落がある。話には聞いていたが、どうしてこんな高い山に人が住んでいるのだろうか。

かせた。知らぬは、気楽な日本国民だけではないだろうか。

いよいよ今度の旅のハイライト「インカ帝国」である。

ブエノスアイレスから、チリの首都「サンチャゴ」経由、ペルーの首都「リマ」に着く。砂漠の街"リマ"を覆っていた厚い層雲をぬけると、そこにはあっと驚く六〇〇〇㍍のアンデスの雪をいただいた連峰があった。息を飲む景色とはこのことだろう。眼下三～四〇〇〇㍍の山の頂上あるいは鞍部に点々と緑の部落がある。話には聞いていたが、どうしてこんな高い山に人が住んでいるのだろうか。

垂直に切り立った五五〇㍍の絶壁の上に六十四年前に発見された、幻のインカ帝国の要塞都市"マチュピッチュ"があった。はるか下にはアマゾンの源流ウルバンバ川が三方を取り囲み、こんな絶壁の上にどうして遺跡があるのか、いまだにその起源を始め、多くの謎は学者ならずとも心躍らすものがある。

遺跡は神殿、宮殿、祭壇、住居、太陽時計、水道、百余の段階など約三百の精巧な石積建築で造られた城塞都市が、何世紀にもわたって、幾多のペルー大地震にも耐え残った、この遺跡からインカ帝国の栄華を偲ぶことは容易であり、われわれの空想を楽しましてくれる。

これほどまでの見事な都市が、なぜ廃都と化したか？、これらの謎が"空中に失われた都市"の名にふさわしい。

〝新しい学問〟への関心

世相反映の〝市民大学〟受講者

吹田市民会館で五月二十二日から開かれていた関大の「市民大学教養講座」が、七月十二日に終わった。受講の市民の声は現在、吹田市教育委員会の手でアンケートが集計されている。一度、関西大学の教室をうけてみたい。講師の先生方は、私たちにあわせるため苦労して、やさしくお教えて下さったが、現役の学生さんと一緒に本来の大学講義にふれてもみたい。などの希望も強いようだ。キャンパスの管理面、正規の聴講生とのかねあいなど、検討すべき問題も多いと思われるが、〝開かれた大学〟として、大胆に踏み切っている他大学も相当ある今日だ。

今回の講座は法律、経済、心理学の三コース。受講者の顔ぶれは、法律は昨年と同じく家庭婦人が、三分の二。ところが経済は、定年層を過ぎた男性が過半数という際立った異姿をみせた。内容が専門化し、家庭の女性にふむきな面もあったかもしれないが、それにもまして、激動の経済界に、再び立ち向かう、つらい男性の姿を浮き彫りしていたことも事実。初登場の心理学は、九割方が女性。それも、二、三十代が多かったという。昨年の社会学では女性は三分の二。それも四十代がほとんどだったのにくらべ、目をみはるさまがわり。やはり〝新しい学問〟のためだったからだろうか。

七月は米価の季節であり、中元の日々でもある。暮らしの移り変わりをテーマですすめられた「経済」コースの内から、津川正幸、角山幸洋両教授の講義要旨（文責・本紙）を掲載する。「法律」と「心理学」は次号へ。

歴史に見る米相場

経済学部教授　津川正幸

米は日本国民の食生活上で、最も主要な食料品であって、生活必需品中の主位を占めたものであった。もちろん今日といえども、パン・うどんその他の多くの代替物が多く消費され、米の消費量は減退したとはいえ、米の食料品としての重要性にはかわりがない。

とくに江戸時代においては、いわゆる「米遣いの経済の時代」とさえいわれるように、米は国家財政ならびに個民所得の標準であって、当時の財政はすべて米をもって切り盛りされ、諸大名の領国の大小、家臣たちの知行や俸禄の高、百姓の農業生産規模にいたるまで、百万石、十万石、千石、百石、三石一人扶持、高十石の高持百姓などと表示呼称されたのである。

以上のように、江戸時代においては、天下国家の財政経済は米穀経済によってささえられていたが、それだけに、米穀生産が自然的条件（とくに天候）に左右され、豊凶常ならぬ産米状況であったので米穀経済がしばしば社会経済に危機をもたらした。すなわち年貢米の収納をめぐって各地に発生した百姓一揆、農原の乱もこの種の原因にもとづくし、米価高騰による打こわし、米騒動、大塩の乱の発生などがそれである。

「米の安きは町人に利あり、武家・百姓に利なく、米の高きは武家・百姓に利あり、町人に利なし」といわれるように、米相場の学問化、家庭の女性にふむきな面もあったかもしれないが、それにもまして、激動の経済界に、再び立ち向かう、つらい男性の姿を浮き彫りしていたことも事実。初登場の心理学は、九割方が女性。それも、二、三十代が多かったという。昨年の社会学では女性は三分の二。それも四十代がほとんどだったのにくらべ、目をみはるさまがわり。やはり〝新しい学問〟のためだったからだろうか。

七月は米価の季節であり、中元の日々でもある。暮らしの移り変わりをテーマですすめられた「経済」コースの内から、津川正幸、角山幸洋両教授の講義要旨（文責・本紙）を掲載する。「法律」と「心理学」は次号へ。

年	代	米一升(円)
明治	4年	0.055
	10年	0.054
	20年	0.050
	30年	0.148
	40年	0.164
大正	5年	0.138
	7年	0.327
	8年	0.55
	9年	0.56
昭和	5年	0.32
	10年	0.35
	16年	㊙0.47
	25年	62.00
	35年	122.00
	43年	212.00
	45年	227.00
53年	標準米	318.00
	業務米	390.00
	流通米	450.00
	錦米	510.00

贈答と掛ふくさ

経済学部教授　角山幸洋

日本人は、人にものをくれたがる習慣があるといわれるほど、贈りものが盛んなことは、現在でも、中元やお歳暮に物のやりとりがよく交わされており、また人を訪問するときは、手ぶらでは具合がわるく、何か手みやげを持っていく習慣があることも明らかである。また外出したときは、家族や近所、知人のために、みやげものとして何か買って帰る習慣が残っている。

しかし現在の中元・お歳暮などの贈答は、全く対手側の顔も見ずに、百貨店を通じ贈られるほど味気がなくなった。この贈答の本質は、物々交換経済以前の人格的結合をもつ贈与経済に端を発する富の分配にあるが、そこには贈与者が、帰国後、現地の新聞・パウリスタに大きく掲載され、日系コロニアの間で貸出し込みが殺到しているという……。以下は苗村氏の「南米飛びある記」。校友のみなさんに、緑陰での憩いの読物にでもと思い掲載した——。

称えたことは、まことに奇縁、感沈の極みであった。

三十九歳の日系政治家、伊波興之サンビセント市長（サンパウロの外港、サントスの隣りの一大リゾート地）や、中南米研究会（関大にも文化部の中にある）出身でほとんど最後の移住者と思える昭和三十九年関学卒業のSEIGEO北山氏（二重国籍）とも歓談ができたのはうれしかった。

鹿持雅澄の「万葉集名処考」

校友の手で限定復刻なる

優樹社を経営する岩野秀樹氏（昭48学一社）が編集・発行者となって、このほど幕末・土佐の国学者、鹿持雅澄（かもち・まさすみ）の著である「万葉集名処考」を限定復刻した。A5判四六二㌻、六、八〇〇円。この復刻の意義を文学部の神堀　忍教授に解説していただいた。

入手希望者は岸和田市春木泉町一一一四—四〇五、振替口座大阪四三二六五、優樹社（ゆうきしゃ）あて、現金書留または振替口座を利用して申し込まれたい。

◆——◆——◆

鹿持雅澄の古典研究中の最大の業績は、近世期の万葉集研究の多面にわたる成果を総合集大成した「万葉集古義」である。それは、万葉集全巻の注釈を主体とするが、万葉集読解のための百科全書でもあり、「万葉名処考」はその一部を形成するものである。

本書は、一名「万葉集坐知佳境」ともいう。居ながらにして万葉の歌枕を知るという意で、万葉集中の地名を五十音順に分けて詳しく考証したものである。なによりも、かなりの項目が抄出に近いかたちで依拠した資料名を明記して引用してあることにおいてすぐれている。さらに、この復刻の大きな学柄は、引用された資料・書物の何たるかが一目でわかるよう極限にまで要約した「出典一覧」を添えたことにある。ともに、読者各人が楽しみながら自学する手がかりをほどよく提供しているこの心くばりがうれしい。併せて、「坐知佳境付録」（「名処考」中の地名を地形により、また行政・交通によって分類し、さらにそれぞれの部類を五十音順に排列した索引）、「名処国分（くにわけ）」（ほとんど全国に及んでいる万葉地名の旧国名別による索引）が付けてあり、万葉集についてあれこれ考察する利便は測り知れない。

各地名には、関係歌が巻名・国歌大観番号を添えて現代の諸注釈を参照しやすいかたちで挙げてある。句読点を付け、段落を分かつ等のことおよびに、これも今回の校訂者の苦心の結実である。著者雅澄の略伝、著者と「古義」についての研究書名をも付記しているのもありがたい。おざなりの復刻が多い中にあっての行き届いた編集による研究書の再生・新版の誕生となった。編者の長年にわたり万葉集に親しんだ実績が、同名の別書かと思わせるほどのみごとな編集をとげさせた。著者は後世にこの上ない知己を得たものといえよう。

八尾の皆さんどうぞ参加を

水野　富蔵（昭29学一商）

学び舎を同じくする校友が、ともに飲みかわすのも勉強。幅広い人生を歩もうではありませんか。

この夏、八尾支部では、いろんな集いを試みます。八尾市在住、在勤の校友は、おさそいあってご出席を。お問い合わせは〇七二九—22—〇八六四番まで。

◇七月二十六日の夕は「新卒業校友歓迎会」。新校友には夕食を用意し、支部名簿を無料で配付。

◇八月十八日（土）午後五時出発のバスで、日本海の若狭へ。〝魚釣り〟組と〝ゴルフコンペ〟に分かれてのレジャー交流。

◇八月二十五日（土）の夕方から近畿の源泉・国民宿舎「信貴山荘」で一泊総会。眼下のわが街の夜景を満喫し、翌朝は連帯の輪の中、旭日にむかって母校の隆昌を胸いっぱい叫べみませんか。

（校友会八尾支部長）

青春悔あれど千里山忘れじ

西盛　祐吉郎（昭45学一法）

学校出てから、はや十年。一度千里山の地を、ここ足で踏みしめてみたい。現在は金沢商工会議所で企画調査課長をしています。

私たちの校友会石川県支部の中には、野球、拳法、空手など体育会の部で活躍した先輩、同輩が多いが、私は、たぶん、今もあると思いますが、司法研、公務員研の双方に籍を置きながら、なんらの勉強もせず、また期待しておりました法学部の伊沢先生（故人）のゼミも、学生運動で全うできませんでした。

自分自身、結果した成果を確保しきれないままの四畳秋でしたが、あの緑のキャンパスの一つ一つの情景が懐かしくも、楽しく思われてなりません。

石川支部の松林支部長（右）と千里山を語る西盛さん

五冊目の上梓とテープ発行

武岡　多（昭23大法）

最近、五冊目（セールスは発想である・文潮出版）を上梓し、「日経や月刊セールス」の書評にも掲載され、意外に好評。テープ（飛び込みセールス必勝法・日本テープ出版）も発売しました。日経の日曜日などに広告されて、ますますの売れ行き。

執筆と出講で、入魂の日日を送っている次第。当年とって——、「十年（とうねん）とって」と読み変え、なくなった校友・学友の方々の分まで入魂しているつもり。

五月十五日号の「こぎげんさん」欄、福田順一兄の写真を、なつかしく拝見しました。彼のいう"反骨・土性骨"関大の豪気な気風"に触れ、気分一新の心地！校友・在学の諸兄に、次の言葉を贈り、さらば！アウフビダーゼーン！

GOD&BUDDHA BE WITH YOU！

（〒三〇二　取手市寺田四二九、電話〇二九七七—四一五四四）

40年前のあの人お逢者で何より

芦田　定男（昭18大政）

昭和十六年三月まで、専門部経済学科在籍中、私は音楽部員やマネージャー。年一回の文化祭は大手前会館や国民会館を借り切って開催されたが、リードクラブの十八番、越後獅子や元録花見踊りは三味線も加えて大変好評だった。その三味線を卒業後何年も、この日ばかりは黒の詰襟服姿で現役部員の"助っ人"として弾いておられたのが、いま校友会伊丹支部長の尾原淳夫さん。大阪市立高校長を歴任後、甲南大の現職教授。

演劇部員で「屋上の狂人」（菊池寛原作）を演じた名優が、いまは母校文学部で英文学科教授の広岡英雄君（昭18大英）。そして、幕間の舞台でとんちょうを背に朗々と詩を吟じて聴衆を魅了していた法律学科生は、検事を経ていま弁護士の日高良雄君（昭18大法）——みなさんお逢者で何より。

こぎげんさん

肥満でお困りのあなたに
美容健康茶
肥満体質の方に最適！冷やして飲んでも最高です。
●赤ちゃんがらお年寄までおいしくお飲みいただけます。
●中華、和・洋食等どんな料理にも合った、美容健康茶です。
ティーバッグ新発売!!
ティーバッグ(20袋入) 850円
ティーバッグ(50袋入) 2,000円
お徳用箱(130g入) 1,500円
中國皇茶　楊貴妃
御求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・健康自然食品店・お米屋・スーパーで……品切れの節は、弊社までお申込みください。御試供品をお送りします。ハガキで弊社まで……
お申込みは——輸入総発売元　株式会社タムラ
試供品請求申込先
大阪市北区芝田2-6-18商工中金ビル☎(06)373-2101(代)

喫茶　ベカ
地下鉄東梅田・日興証券ビルB1　電313—6774

羽淵特許事務所
弁理士　羽淵　博
大阪市東区平野町二ノ一　山桂ビル四階
電話〇六（202）〇一〇二（代）

暑中お見舞申し上げます
弁理士関大会有志

弁理士 内田修　弁理士 池田敏彦　大阪市北区梅田一ノ二ノ二　大阪駅前第二ビル12階　電話 〇六（346）五六二一（代）
弁理士 大中清一　大阪市都島区高倉町一七一　電話 〇六（928）四三三三（代）
大和田特許事務所　弁理士 大和田隆太郎　大阪市西成区南津守五ノ一ノ九　自宅 〇六（661）一六〇六　自宅 住ノ江区御崎六ノ一ノ九　電話 〇六（683）四〇二八
オイカワ特許法律事務所　所長 及川昭二　東京都千代田区平河町二ノ五　麹町山晴ビル四階　電話 〇三（230）〇六一一（代）
岡田国際特許事務所　弁理士 岡田英彦（工専機械第一回卒）　名古屋商工会議所ビル七階　電話 〇五二（221）六一一四
亀井特許事務所　弁理士 亀井弘勝　大阪市南区順慶町通二ノ二四　田中ビル二階　電話 〇六（271）六五二七（代）
藤田特許事務所　弁理士 藤田時彦　大阪市北区西天満二ノ八ノ一　大江ビル三階　電話 〇六（364）〇六九三（代）
弁理士 半井政夫（ナクライ）　大阪市東区瓦町一ノ八　井上ビル　電話 〇六（231）二一一四　（231）五三一〇
中尾特許事務所　所長 弁理士 中尾房太郎　大阪市北区梅田二ノ二ノ二五　新阪神ビル　電話 〇六（341）〇三一〇（代）〇六（345）〇四〇八
辻本特許事務所　弁理士 辻本一義　大阪市南区東平野町三ノ三四ノ一　東カイ興産ビル八階　電話 〇六（763）四八三一（代）
津田特許事務所　弁理士 津田直久　堺市住吉橋町一丁九ノ九　電話 〇七二二（21）〇八四八
玉利特許事務所　弁理士 玉利富二郎　大阪市西区西本町一ノ三ノ九　清友ビル　電話 〇六（541）五〇三二
森本特許事務所　弁理士 森本義弘　大阪市西区阿波座南通一ノ七　アマノビル　電話 〇六（532）四〇二五（代）
山根特許経理事務所　弁理士 山根賢蔵　大阪市東区平野町二ノ二三　タケムラビル五階　電話 〇六（231）〇六九九・〇六〇六
吉木特許事務所　弁理士 吉木由雄　弁理士 吉木由蔵　大阪市北区梅田・大阪駅前第一ビル一階　電話（343）二六二一（代）　自宅 電話（852）三〇一〇（由雄）　電話（856）一七六五（由蔵）
宮地特許事務所　弁理士 宮地正一　大阪市天王寺区上本町九ノ五三　（地下鉄四天王寺前駅東三米）　電話（771）二五四六・八一一八八
弁理士 丸山喜三造　弁理士 丸山信子　弁理士 丸山敏之　大阪市旭区中宮四ノ一〇ノ二　電話 〇六（951）二五四六（代）
藤本昇特許事務所　弁理士 藤本昇　大阪市南区末吉橋通一ノ一六　長堀八千代ビル　電話 〇六（271）七九〇八（代）
藤原特許事務所　所長 弁理士 藤原忠義　大阪市西区北堀江一ノ三ノ二四　OKO会館五階　電話 〇六（532）二二一八　自宅 池田市石橋四ノ三ノ八　電話 〇七二七（62）一八〇一
岸本特許事務所　弁理士 岸本芳夫　大阪市東区北浜四・万成ビル　電話 〇六（202）五八五八（代）　自宅 八尾市山本町南ノクノ七モ　電話 〇七二九（22）六二〇七
倉内特許事務所　弁理士 倉内義朗　大阪市北区西天満四ノ四ノ一八　梅ケ枝中央ビル　電話 〇六（364）八一五三（代）
清水久義特許事務所　弁理士 清水久義　大阪市南区順慶町通三ノ五〇　榎本ビル　電話 〇六（245）二七一八（代）
校友会羽曳野支部長　弁理士 杉本巌徳　大阪市天王寺区悲田院町八ノ一　日生天王寺ビル　電話 〇六（772）六〇〇六（代）　自宅 羽曳野市恵我荘二ノ八ノ二
鈴木特許事務所　弁理士 鈴木茂　弁理士 鈴木ハルミ　大阪市東区平野町二ノ一〇　平和ビル八階八〇七号　電話 〇六（203）四四八五（代）
角田内外国特許事務所　所長・弁理士 角田嘉宏　弁理士 天野定美　神戸商工貿易センタービル八階　電話 〇七八（251）〇二五五（代）
立川特許事務所　弁理士 立川登紀雄　大阪市天王寺区空堀町ノ一五　電話 〇六（762）一九八一

友情は屢々濯概を要する植物
明日と云はず今日より
喜怒哀楽を、今昔を、
太平記の里　千早赤阪村森屋　喫茶　カタロ
TEL. 07217 (2) 1079
共にカタロで語ろ
（昭和23 大法卒 井上武彦）

カメラ　写真材料なら……
カメラのデパート　ナニワ
ドーシマ地下センター　ナニワ
本社　大丸そごう間東入る　TEL 244—1221（大代）
北営業所　地下鉄西梅田南200米　TEL 344—5921（代）
毎日会館営業所　大阪市北区堂島毎日会館　TEL345—9605・345—3865（代）
各営業所　京都・高松・福岡・広島・金沢

能率にスチール棚
重役室から工具室まで
とにかく棚のすべてがあります
書架・物品棚・商品棚・可動間仕切
日本ファイリング
本邦最大のスチール棚専門メーカー
日本ファイリング
本社・東京都千代田区神田駿河台一の六（主婦の友ビル六階）
電話（294）1751（大代表）
営業所・大阪、名古屋、福岡、札幌
特約店・全国各地